



教室で安全な間隔は本当に確保できているのか？

6月議会では机の間隔は1mと答弁

学校での新型コロナの感染防止策を質問、「机と机の間隔はどれくらいか」と質問すると、教育委員会は、「特に子どもの人数が多い昭和小、鳥西小、景雲中などに行って実際に測りました。机の列を一段ずつずらして、最低でも1mあります。」と答弁しました。これは予想外の答弁で、「本当にそんなに間隔が取れるものだろうか」と村上議員も、にわかには信じられませんでした。

実際に昭和小学校を訪ねて計測

そこで、村上議員と工藤議員は夏休みに昭和小学校を訪問、最も子どもの人数の多い6年3組の教室を見せてもらいました。実測してみると、右の図のような机の配置になっていました。



実は、いま普通に使っている大きめの机(65×45)を入れると、6年生は目いっぱいになってしまうので、わざわざ机を60×40の少し小さなものに入れ替えたそうです。

それでも、机の中心同士は前後も左右も1.1mありますが、間隔は前後で80センチ、左右は43センチしかありません。肝心の子ども同士の間隔も90センチ足らず、最低1mというソーシャルディスタンスの基準も下回っています。

